

AOI国際病院

最新 血管造影装置導入



当院では2020年4月に最新の血管造影装置(島津製作所)を導入致しました。この装置では放射線量を増やさずに鮮明な画像が得られることより、胸が痛くなる狭心症や心筋梗塞、また足が痛くなる下肢血管動脈硬化症などを手術ではなく、循環器内科でカテーテルを使った血管の治療をするときに威力を発揮します。カテーテルを用いた血管治療では、硬い石灰化を伴う血管が細く狭まったところを拡げて、血の流れをよくします。その際、狭いところを治療用の細いワイヤーを通過させることが治療の成否に繋がります。この装置を用いると病変血管とワイヤーなどが明瞭に見ることができ、繊細なワイヤー操作ができるため血管拡張の成功率が上がり、また安全な手技が可能になります。また、血管を撮影する時に二つの方向から同時に映像がみれる機能も備わっており、造影剤の使用量が少なくてすむため腎臓の働きが低下している患者様も安全に検査や治療をお受け頂けます。

当院では最新心臓MRI装置も稼働できるようになり、循環器内科ではこれら最新医療機器を専門医が駆使することにより更に安全で良質な最新診療をご提供できますよう引き続き努めて参ります。



AOI国際病院 循環器科スタッフ一同

AOI国際病院 不整脈先端治療センター長
循環器科部長 平尾 見三
AOI国際病院 心血管治療センター
副センター長 川島 朋之

